介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築イメージ

○　令和2年度、効率的な人員配置等の政策的課題の解決や企業による介護ロボットの開発促進を目的に、リビングラボが中心となり、開発企業に対して実証フィールドを提供し、エビデンスデータを蓄積し、介護ロボットの開発・普及を加速化。

○　具体的には、①相談窓口（地域拠点）、②リビングラボのネットワーク、③介護現場における実証フィールドを整備し、介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームを構築する。

介護施設等

開発企業等

介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム

①相談窓口（地域拠点）
※10箇所程度

介護ロボットに関する介護施設等からの導入相談、開発企業等からの実証相談へのきめ細かな対応

②リビングラボネットワーク
－開発実証のアドバイザリーボード兼先行実証フィールドの役割－

③介護現場における実証フィールド
－エビデンスデータの蓄積－

全国の介護施設の協力による大規模実証フィールド

①相談窓口（地域拠点）
※10箇所程度

介護施設等（ニーズ側）・開発企業等（シーズ側）の一元的な相談窓口（10箇所程度）

・介護ロボットの紹介や活用方法の助言
・介護ロボットの試用貸出

・介護ロボットの導入相談
・活用方法の相談

介護施設等（ニーズ側）

①リビングラボのネットワークを介した
・開発・実証アドバイス
・大規模実証の斡旋
②個別の開発企業に対しての実証に協力する介護施設等の紹介
③開発実証費用に係るファンドや補助金の紹介

・介護ロボットの開発実証の相談

①　②　③

リビングラボネットワーク

実証施設

実証に協力する介護施設等

開発企業等（シーズ側）

②リビングラボネットワーク　－開発実証のアドバイザリーボード兼先行実証フィールドの役割－

○人手不足等の様々な課題に対して、各リビングラボの特性（研究実証型、現場実用型）を最大限活用して対応できるよう、リビングラボのネットワークを構築し、以下の内容を実施。

（１）政策的課題に対する対応

■政策的課題に対する解決策の検討

・介護サービスの質の向上・効率的なサービス提供に資するテクノロジー機器の選定、介護現場での実証方法等の整理。※老健事業を活用。

・介護サービスの質の向上・効率的なサービス提供のモデル事業の先行実施。※実証施設を１箇所選定。

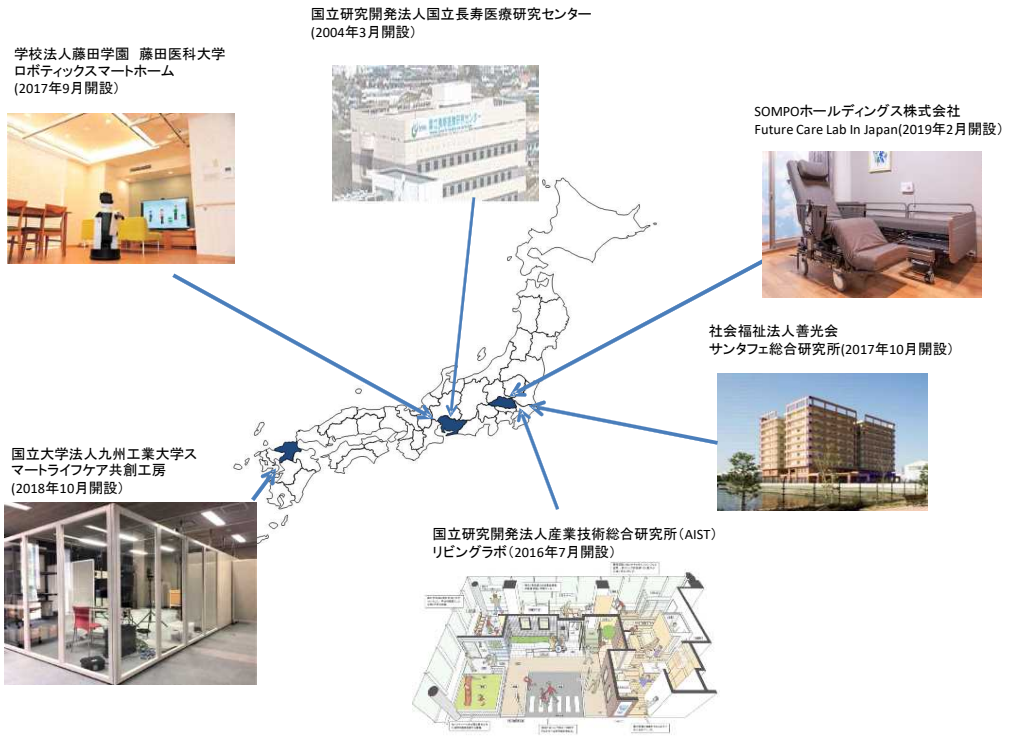
・大規模実証における実証方法やデータ分析の専門的な技術的助言。

（２）個別の開発企業への対応

■個別の機器に対する安全性や利用効果の科学的な実証（現場導入前の先行実証）

■実証方法やデータ分析の専門的な技術的助言

介護分野のリビングラボの代表例



③介護現場における実証フィールド　－エビデンスデータの蓄積－

想定するフィールド	・各ラボが提携する協力施設 ・関係団体との連携による協力施設　等
実証内容	**（１）政策的課題に対する対応** **○介護サービスの質の向上・効率的なサービス提供に向けた介護施設での大規模実証　等** ※令和２年度に老健事業やモデル事業を実施し、令和３年度以降、実証フィールドでの大規模実証を順次実施。 **（２）個別の開発企業への対応** **○開発企業等による大規模実証（随時）**